

1	二年生のふく習①	2
2	二年生のふく習②	4
3	動きを表す言葉①	6
4	動きを表す言葉②	8
5	様子を表す言葉①	10
6	様子を表す言葉②	12
7	にた意味の言葉と 反対の意味の言葉	14
8	たしかめ問題①	16
9	文の組み立て①	18
	文の組み立て②	20

## おうちの方へ

- ◎言葉の知識やきまりを学習するドリルです。文や文章の中で使いこなす力がつくように、さまざまな設問を掲載しています。
- ◎本書は、文部科学省「学習指導要領」に基づいた編集です。
- ◎一般的な教育用の漢字書体を使用しております。細かな字形について、ご使用の教科書と異なる場合がありますので、ご了承ください。
- ◎教科書によって、学習していない漢字や項目があります。

表紙イラスト／Kろこ

10	くわしくする言葉①	20
11	くわしくする言葉②	22
12	たしかめ問題②	24
13	まる(○)てん(こ) かぎ(「」)の使い方	26
14	こそあど言葉	28
15	文をつなぐ言葉	30
16	たしかめ問題③	32
17	かなづかい	34
18	いろいろな言い方①	36
19	いろいろな言い方②	38
20	たしかめ問題④	40
21	国語辞典の使い方	42
22	ローマ字①	44
23	ローマ字②	46
24	たしかめ問題⑤	48
25	漢字と送りがな①	50
26	漢字と送りがな②	52
27	漢字の組み立て	54
28	なかまの言葉	56
29	同じ読み方の漢字	58
30	二つの漢字でできた言葉	60
31	たしかめ問題⑥	62
32	まとめのテスト①	64
33	まとめのテスト②	66
34	まとめのテスト③	69
	答え・とく点表	72





# 1 二年生のふく習①

月

日

点

1 □ の言葉を、次の①～④に分けて、かたかなで書きましよう。  
う。

1問8点

① 外国の名前

ぴちやぴちや

かなだ

ばたばた

けえき

わんわん

いぎりす

ちゅんちゅん

てにす

② 外国から来た言葉

③ 動物の鳴き声

④ ものの音

2 次の — — — — — の漢字の読みがなを書きましよう。

1問6点

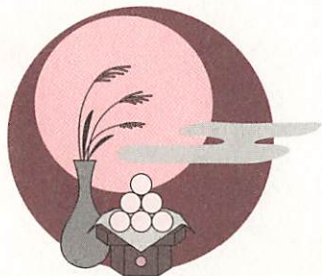
① 十五夜の月。

じゅうご

② 夜になる。

③ 夜風がふく。

かぜ



**3** 次の二つの言葉を組み合わせ、一つの言葉を作りましよう。  
つぎ ことば

1問5点

（れい） 走る + やる ↓ （走りやる）

① 切る + 取る ↓ （ ）

② 見る + のがす ↓ （ ）

③ とぶ + 回る ↓ （ ）

④ たたく + 落とす ↓ （ ）

**4** 次の文の（ ）にあてはまる言葉を、  
きましよう。 からえらんで書

1問6点

① ねこが（ ）鳴く。

② 水を（ ）はね上げる。

③ ゆかが（ ）すべる。

④ コップが（ ）とわれる。

⑤ （ ）とせきをする。

ガチャン・つるつる・ニャーニャー  
 バシヤバシヤ・ゴホゴホ



答え：72ページ





## 2 二年生のふく習 ②

月

日

点

1 次の文に、かぎ（「」）を一組ずつ書きましょう。

1問8点

1 わたしは

わかりました。

と言った。

2 兄が

勉強を教えてあげる。

とやさしく言った。

3 妹が

おたん生日、おめでとう。

と言って、プレゼントをくれた。



2 次の□にあてはまる、――の読みの漢字を書きましよう。

1問9点

1 カイ

ア 帰りの□。

イ 何□も泳いだ。

2 コク

ア □語のノート。

イ □板に書く。



**3** 次の文の主語（「何が（は）」「だれが（は）」と、述語（「どうする」「どんなだ」「何だ」）を書きましよう。 1問10点

① ぞうが りんごを 食べる。

主語（

）

述語（

）

）

② あの せの 高い 人は、ぼくの 友だちだ。

主語（

）

述語（

）

）

③ 学校で、マラソン大会が あった。

主語（

）

述語（

）

）

**4** ——— の言葉を、ていねいな言い方に書きかえましよう。 1問7点

〈れい〉本を読む。



（読みます）

① 朝、教室に入る。

（

）

② きのはかぜで学校を休んだ。

（

）

③ ぼくがすきなものはいちごだ。

（

）

④ その話はよくわかった。

（

）



# 動きを表す言葉



月  
日

点

1 次の文に合う言葉を、から一つずつえらんで書きましよう。  
1問5点

① ごはんを ( ) 。

② おかの上から町を ( ) 。

③ お母さんの帰りを ( ) 。

④ 大きな声で友だちを ( ) 。



待つ・よぶ・食べる・ながめる

2 次の言葉は、体のどの部分でする動きを表していますか。

からえらんで書きましよう。

1問4点

① 持つ ( )      ② 聞く ( )

③ 食べる ( )      ④ 見る ( )

⑤ 走る ( )

目・手・口・耳・足





3

4

は、下の言葉につづくように、言葉の形をかえよう。

答え：72ページ

2 思う……とてもうれしく

( )

( )

た。



1 歩く……道に広がって

( )

( )

ない。

4

次の言葉を、文に合う形にかえて書きましよう。

1問10点

書	書	書
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
う	ます	ない

読	読	読
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
だ	ます	ない



3 字を書く。

と	と	と
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
う	ます	ない

4 本を読む。

行	行	行
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
た	ます	ない



1 空をとぶ。

2 学校に行く。

3 次の言葉の形をかえて書くとき、にあてはまる字を書きましよう。

1問10点

にあてはまる

4

様子を表す言葉①



月  
日

点

1 次の文の中から、様子を表す言葉をさがして、○でかこみましよう。

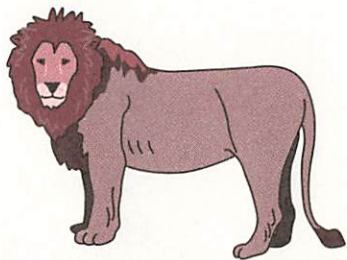
1問8点

① この本は おもしろい。

② ライオンは 強い。

③ 夕方の 空は 赤い。

④ せみの 鳴き声 が うるさい。



2 次の文にあてはまる様子を表す言葉を、

から一つずつ

1問8点

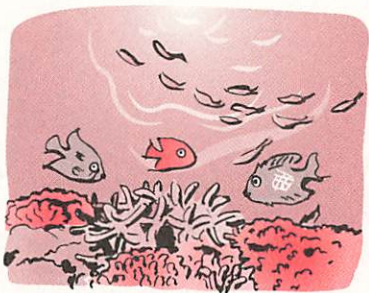
えらんで書きましよう。

① 家の外は、( )。

② 海のそこは、( )。

③ りんごの実は、( )。

赤い・寒い・新しい・深い



3

の中から様子ようすを表す言葉ことばをえらんで、書きましよう。

1問8点

1

わらう・絵本  
楽しい・きつね



2

昼休み・新しい  
つくえ・運はこぶ



3

着きる・やわらかい  
セーター・姉



4

の言葉を  に合うように形をかえて書きましよう。

1問10点

1 ねずみは、小さい。

2 その服ぶくは、古い。

小さい  ない。

小さい  た。

小さい  ば、

古  ない。

古  た。

古  ば、



4

は、「いい」という言葉を、いろいろな形にかえてみよう。

答え：72ページ



様子を表す言葉 (2)



月  
日

点

1 次の文の中から、動きの様子をくわしくしている言葉をさがして、○でかこみましょう。

1問8点

① 雨が ザーザー ふる。

② 花びらが ひらひら まう。

③ ひよこが ピヨピヨ 鳴く。

④ 空に 星が きらきら 光る。



⑤ 兄は どんどん 進んだ。

2 絵に合う様子を表す言葉をえらんで、○でかこみましょう。  
1問10点



① 気球が

ふわふわ  
もぐもぐ

とぶ。



② ドアを

ギューギュー  
トントントン

たたく。

3 次の文に合う様子を表す言葉を、  
書きましよう。

1問5点

1 赤ちゃんが、  
ねている。

2 強い風が、  
ふいている。

3 妹は、ケーキを  
食べる。

4 ろう下を歩くと、ゆかが  
いう。

ギシギシ・すやすや  
ビュービュー・ぱくぱく



4 次の文に合う様子を表す言葉をえらんで、  
○でかこみま  
しよう。

1問10点

1 きのうの夜は、  
ぐっすり  
はつきり  
ねむれた。

2 人が集まって、  
会場は  
くつきり  
ぎつきり  
うまった。



1 は、動きを表す言葉の上にあるよ。



にた意味の言葉と  
反対の意味の言葉



月  
.....  
日

点

1 ■ の言葉とにた意味の言葉を下からえらんで、——でつ  
なぎましよう。

1問6点

1 夕日がきれいだ。 ・ 話す

2 えい画はおもしろい。 ・ 美しい

3 弟がわたしに言う。 ・ 楽しい

4 けしきをながめる。 ・ 行く

5 遊園地に出かける。 ・ 見る

2 ■ 次の言葉とにた意味の言葉を、 からえらんで書きま  
しょう。

1問5点

1 苦しい： ( ) 2 暑い： ( )

3 急ぐ： ( ) 4 話す： ( )

しゃべる・あわてる  
あたたかい・つらい





2

の<sup>②</sup>は、「あつい本」などと使<sup>つか</sup>うときは、意味がちがうね。

⑤ 東

•

• 下

④ 前

•

• 西

③ 表<sup>おもて</sup>

•

• うら

② 外がわ

•

• 内がわ

① 上

•

• 後ろ



4 次の言葉と反対の意味の言葉を下からえらんで、——でつなぎましょう。

1問6点

① 大きい ⇄



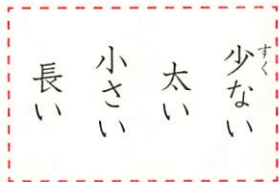
② 多い ⇄



③ 細い ⇄



④ 短い ⇄



3 次の言葉と反対の意味の言葉を、

からえらんで書きま

1問5点



7

たしかめ

問題

①

もんだい

月

日

点

14

1 文に合う動きを表す言葉を、

からえらんで ( ) に書き

ましよう。

1問6点

① 朝は、六時に ( )

。

② 妹は、にこにこ ( )

。

③ 相手をじっと ( )

。



④ 外のけしきをゆっくり ( )

。

⑤ 重いとびらをぐいっと ( )

。

ながめる・起きる・見つめる・わらう・おす

2 の言葉を、文に合う形で書きましよう。

1問10点

① 飲む

ジュースは、あまり ( ) ない。

② 通る

明るい道を ( ) ば、安全だ。



3 次の文にあてはまる様子を表す言葉を、  
書きましよう。

1問6点

1 友だちとゲームをするのは、

。

2 電とうをつけたので、室内は

。

3 ペットがいなくなつて、

。

4 かみなりが

鳴る。

5 雨でコートが

ぬれた。

ゴロゴロ・悲しい・明るい・ぐっしより・楽しい

4 次の①・②はにた意味の言葉を、③・④は反対の意味の言葉をえらんで、( )に○をつけましよう。

1問5点

① 見る

② もどる

わらう  
のぞく

帰る  
出る

③ 売る

④ ぬぐ

買う  
取る

出す  
はく

答え：73ページ



月
日

点
---

1 次の文の「何が(は)・だれが(は)」にあたる言葉(主語)を、

○でかこみましよう。

1問6点

1 女の子が わらう。

2 森の 中で、小鳥が さえずる。



3 きノウ、ぼくは 友だちと 遊んだ。

4 いつものまにか、太陽が のぼって いた。

5 この えんぴつは、わたしの ものです。

2 次の文の「どうする」「どんなだ」「何だ」にあたる言葉(述語)を、○でかこみましよう。

1問5点

1 かたつむりが のろのろ 進む。

2 きノウ 生まれた 子犬は、元気だ。

3 わたしの 妹は、三さいです。



4 チーターは、人より 速く 走ります。

3 次の文の主語と述語を、それぞれ書きましょう。

1問5点

① ねこがニャーと鳴く。

主語  
述語

② この犬の毛は、白い。

主語  
述語

③ 妹は、一年生です。

主語  
述語

④ あそこにいる人が、母だ。

主語  
述語

4 次の文の形と同じ形の文をえらんで、( )に○をつけましょう。  
1問10点

① 何が(は)どうする。

犬がほえる。  
花はきれいだ。

② 何が(は)どんなだ。

父は、早く起きる。  
先生は、やさしい。

③ 何が(は)何だ。

この金魚は、赤い。  
サンゴは、動物だ。



述語は、ふつうは文の終わりにあるよ。



月
日

点
---

1 絵を見て、( )にあてはまる言葉ことばを、                      からえらんで書かきましよう。どの言葉も一回しか使つかえませぬ。  
1問7点



二人ふたりは、速はやく

どうする



金魚がゆっくり

どうする



赤ちゃんは、

どんなだ



兄は、

何だ



夕やけ空は、

どんなだ



ひよこは、

どんなだ



小さい・きれいだ・中学生だ  
黄色い・走る・泳およぐ

わかったものから  
書いていこう。



2 次の文は、          の中のどの形ですか。記号で答えましょう。

1問7点

① 花だんの花がとても美しい。

( )

② チューリップの花がさく。

( )

③ 先生は、とてもきびしい。

( )

④ ハチは、こん虫ちゅうちゅうのなかまだ。

( )

⑤ 友だちがプレゼントをくれた。

( )

⑥ あの黄色い鳥は、インコだ。

( )



ア何が(は)どうする イ何が(は)どんなだ ウ何が(は)何だ

3 次の文の――は、主語、述語のどちらにあたりますか。正しいほうを、○でかこみましよう。

1問4点

① つばめは、速はやくとぶ。

[主語・述語]

② 小さなねこがニャーと鳴く。

[主語・述語]

③ 池にいる魚は、金魚です。

[主語・述語]

④ つくえの上にノートがある。

[主語・述語]



3

主語は、いつも文のはじめにあるとはかぎらないよ。

1 | —の言葉をくわしくしている「どんな」を表す言葉を、  
 ( )に書きましょう。

1問8点

① 赤い 実みが なって いる。

② かわいい りすを かう。

③ つめたい ジュースが ほしい。

④ むずかしい 本を 読む。

⑤ 白い ちようが とぶ。

2 | 絵に合う「どんな」を表す言葉を、  
 ましょう。どの言葉も一回しか使えません。

1問6点



( ) 山のぼに登る。



( ) 荷物にものを持つ。



( ) 花はながさいた。

美しい  
 高い  
 広い  
 重い

3 ———の言葉ことばをくわしくしている「どのように」を表す言葉あらわを、  
 ( )に書きましょう。 1問6点

1 しば犬が キャンキャン 鳴く。( )


2 風が ビュービュー ふく。( )

3 さくらの 花が いっせいに 開く。( )

4 小さい 魚が すいすい 泳ぐ。( )

4 次の文に合う「どのように」を表す言葉を、  
 んで書きましょう。どの言葉も一回しか使えません。 1問6点

1  星が ( ) 光る。( )

2  公園の中を、( ) 歩く。( )

3  せんべいを ( ) 食べる。( )

バリバリ・ゆっくり・べったり・きらきら

3 と 4 は、述語しゆごをくわしくする言葉だよ。





月  
日

点

1 ——— の言葉がくわしくしている言葉を、( ) に書きましょ  
う。

1問7点

① 野原に 黄色い 花が さく。( )

② きれいな 金魚を 池で 見た。( )

③ かわいい 子犬が 庭にわに いる。( )

④ 大きな こいが ゆったり 泳およぐ。( )

⑤ みんなで なかよく くらす。( )

⑥ 急いそいで 学校に 行った。( )

⑦ きのう、リレーの 練習れんしゅうを した。( )

どの言葉をくわしく  
しているのかな？







12

たしかめ

問題

もんだい

②

月

日

点

1 次の文の主語と述語にあたる言葉を書きましよう。

1問6点

① 公園には、はとがたくさん集まる。

主語

述語

② クジャクの羽は、とてもきれいだ。

主語

述語

③ おかの上から、町が見えた。

主語

述語

④ 急に、女の子がしくしくとなく。

主語

述語

2 次の文は、      のどの形と同じですか。記号で答えましよう。

1問6点

① てんとう虫は、こん虫だ。

② 駅までは、とても近い。

③ 犬が人を追いかける。

④ 父がはくくつは、大きい。



ア何が(は)どうする イ何が(は)どんなだ ウ何が(は)何だ

3  の言葉ことばをくわしくしている言葉に、——を引きましよう。

1問5点

1 赤い風船ふうせんがふわふわととんでいった。

2 母は、いつもおいしいコロッケを作る。

3 黄色い、小さなちようがとんできた。

4 丸い、きれいなボタンが落ちていた。

4  の言葉がくわしくしている言葉に、——を引きましよう。

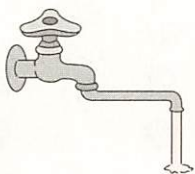
1問5点

1 今日は、公園で楽しく遊んだ。

2 つくえの上をきれいにかたづけろ。

3 水がいきおいよくじゃ口から出る。

4 すっかりやくそくをわすれていた。



5 次の文つぎから、「いつ」「どこで」にあたる言葉をさがして、書きましよう。

1問6点

1 ぼくは、冬休みに、山でスキーをした。

いつ ( ) どこで ( )

2 日曜日、いとこたちと、海で泳いだ。

いつ ( ) どこで ( )

1 次の文の  に、まる(○)かてん(●)を書きましよう。

1問8点

① キのう  家族で動物園に行った

② 家に帰ると  母が夕食の用意をしていました

③ プールに行った  だが  しまっていて泳げ  
なかつた

④ わたしは  本をたくさん読み  たくさんわ  
らった

⑤ 雨がふってきた  だから  かさをさした

2 意味の切れ目がよくわかるように、次の文に、てん(●)を一  
つずつ書きましよう。

1問7点

① 今日 学校で テストが あった。

② 学校に 着いたら チャイムが 鳴った。

③ 雲が たれこめた。でも 雨は ふって いない。

④ 天気か よければ ハイキングしよう。

3 次の文に、かぎ（「」）を一組ずつ書きましょう。

1問6点

① わたしは、友だちに  
さようなら。

と言ってわかれた。

② きのお、ぼくは父から、  
よくがんばったな。  
と、ほめられました。

ぼくは、ひとりで行くよ。

③ と、よしおが言うので、  
みんなは、だまってよしおを見送った。



④ 妹は、  
おやすみなさい。  
と言うと、自分のへやに入っていた。

④ まる（○）とてん（○）とかぎ（「」）の使い方がまちがっている  
ところを、一つずつ書き直しましょう。

全部できて8点

わたしは、山の上で、

わあ、「やっと着いたぞ。」

と。大声でさけびました、





月

日

点

1 次の文から、こそあど言葉を二つずつさがして、——を引  
きましよう。

1問6点

- 1 いや、あの場所にはそんなものはおいていないよ。
- 2 あそこにあるえんぴつの、どれがあなたのものですか。
- 3 それではなく、これがわたしのえんぴつです。
- 4 あの絵はどなたがかいた作品ですか。
- 5 あんなことになるなんて、その人は  
思いもよらなかっただろう。



2 次の( )にあてはまるこそあど言葉を、        からえらんで  
書きましよう。

1問5点

- 1 病院がある、( ) まで何メートルですか。
- 2 君が持っていたペン、( ) をぼくもほしい。
- 3 強くてやさしい、( ) 人になりたい。
- 4 五さつのうち、( ) 本があなたのもので  
すか。

あれ・どの・これ・そんな・あそこ

3 次の「こそあど言葉」が指しているものを書きましよう。

1問8点

① いなかからおばあさんが来た。おばあさんが言うには、あちらはとても暑あつかったそうだ。

② 水たまりの中にかえるがいる。きのうはそこではなく、木のかげにいた。

③ 友だちがノートを見せてと言った。ぼくはそれを家にわすれてきてしまった。

④ 向むこうに大きいたて物が見えます。あれはわたしが通かよっている学校です。

4 次のこそあど言葉は、おもに何を指すときに使つかいますか。  
からえらんで書きましよう。

1問6点

① これ それ あれ どれ

② ここ そこ あそこ どこ

③ こちら そちら あちら どちら  
こつち そつち あつち どつち

場所・物事・方向・様子



「これ」「こ」「ここ」「こつち」は、自分に近い場合に使つかう。



15

# 文をつなぐ言葉



月  
日

点

1 文をつなぐ言葉の使い方つかかたが正しいほうを、○でかこみま  
しょう。  
1問7点

① のどがかわいた。  
だから、水を飲のんだ。

② 花のたねをまいた。  
だから、めが出ない。

③ きのは早くねた。  
だから、朝早く目がさめ  
た。

④ 日がてりつける。  
だから、ぼうしをかぶった。  
でも、

2 ( ) に合う言葉を、  
言葉も一回しか使えません。  
からえらんで書きましょう。どの  
1問6点

① ねつが下がらない。( )、外出できない。

② 公園に行った。( )、だれもいなかった。

③ この服ふくがすきですか。( )、あの服がす  
きですか。

④ あつい雲が出てきた。( )、雨までふっ  
てきた。

それとも・そのうえ・だから・でも



3 正しく文がつづくように、それぞれ1〜3の番号をつけましょう。  
1問10点

① ( ) はじめに、先生から話があった。

( ) そして、歌を歌って、会は終わった。

② ( ) 次に、クラスみんなでゲームをした。

( ) 次に、話し合うことからを決める。

( ) まず、ギ長役を決める。

( ) それから、話し合う。



4 [ ] の言葉と同じようなはたらきをする言葉を、「 」か  
らえらんで、○でかこみましょう。  
1問7点

① 雨がひどくなってきた。けれど、兄は外に出て  
いった。

[ ] ところが・だから・また [ ]

② バナナを食べた。さらに、ケーキも食べた。

[ ] そのうえ・でも・さて [ ]

③ 毎日、ぼくはサッカーの練習をした。しかし、

レギュラーになれなかった。

[ ] そして・すると・でも [ ]

④ 太陽がまぶしい。それで、手をかざした。

[ ] だから・しかし・また [ ]

3 は、それぞれの文のはじめの言葉に注意してね。



# 16 たしかめ

## 問題

もんだい

③



月
日

点
---

1 次の文章を読んで、後の問題に答えましょう。

1問10点

夏休みに  <sup>ア</sup> わたしは、おじいさんとおばあさん  
 んに会いに、いなかに行きました  <sup>イ</sup> 二人とも、  
 遠いところまでよく来てくれたね。  
 と言って、よろこんでくれました。



① 文章の中の  にてん(、)とまる(。を、それぞれ一つずつ  
 書きましょう。

② 文章の中に、かぎ(「」)を一組書きましょう。

②  のこそあと言葉が指していることから、――を引き  
 ましょう。

1問10点

① 野原で、たこあげをした。  そこは、とても広く  
 て気持ちがよくかった。

② 父の本だなど、古い本を見つけた。  それは、オ  
 リンピックについての本だった。

③ 山の上には、雲がかかっていたので、  そこから  
 は、下のけしきは見えなかった。

3 ( ) に合う言葉を、 からえらんで、記号で答えましょう。  
1問10点

① よしおは、いつも元気だ。( )、その日は、  
様子がおかしかった。

② 妹は、あまえんぼうだ。( )、いつもおば  
あさんのそばからはなれない。

③ 一人でなわとびの練習をした。  
( )、みんなでもとんだ。

ア だから イ さらに ウ ところが



4 次の文章を読んで、後の問題に答えましょう。  
1問10点

ぼくは犬をつれて公園に行った。そこで、友だ  
ちが二人で鉄ぼうをして遊んでいた。ぼくもさそ  
われた。、犬がいたのでことわった。

①  が指していることから、——を引きましょう。

②  に合う言葉を次からえらんで、○をつけましょう。

( ) だから ( ) しかし ( ) また



月  
.....  
日

点

1 次の絵の言葉<sup>ことば</sup>を、正しいかなづかいで書きましょう。 1問5点<sup>もん 5 点</sup>



お  
□  
さま

2



こ  
□  
り



は  
な  
□

4



□  
や  
ま



せ  
ん  
せ  
□

6



え  
□  
が

2 かなづかいが正しいほうを、○でかこみましょう。 1問6点

1 わたし  
わ は  
、  
勉強<sup>べんきょう</sup>  
を お  
した。

言葉の後は「は」  
「を」「へ」だね。

2 おと  
う お  
とが、ようち園  
え へ  
行く。



3 こ  
ろぎの鳴き声がと  
お う  
くからする。

4 こ  
えんで、本のつ  
づ ず  
きを読む。

5 お  
う お  
かみからにげるほうほ  
お う  
を考える。

3 ———の言葉のことばかなづかいが、正しいものは○をつけ、まちがっているものは正しく書き直しましょう。  
1問5点

1 おうくの人<sup>( )</sup>が来て、かんづめ<sup>( )</sup>を買っていった。<sup>( )</sup>

2 おいし<sup>( )</sup>そうな魚<sup>( )</sup>がきれえ<sup>( )</sup>になら<sup>( )</sup>んでいる。<sup>( )</sup>



3 こおてい<sup>( )</sup>のすみで、すづむし<sup>( )</sup>が鳴<sup>( )</sup>いている。<sup>( )</sup>

4 おうど<sup>( )</sup>おりの店<sup>( )</sup>に、ぎょうれつ<sup>( )</sup>がで<sup>( )</sup>きている。<sup>( )</sup>

4 かなづかいのまちがいに——を引いて、右に正しい字を書き直しましょう。  
1問5点

〈れい〉  
すづしい <sup>ず</sup>かぜが <sup>お</sup>とうりすぎる。

1 わきに かたずけた <sup>お</sup>にもつに つまづく。

2 てずくりの りょおりを ほめる。

3 ちじんだ ふくを いちまいつつ たたむ。

4 おぢさんから はこずめの りんごが とどく。



「じ」「ち」「お」「ま」「ひ」「し」「じ」「ひ」「け」を使ひ分けられるか。

1 ——— の言葉が、ていねいな言い方になっていくほうに、○をつけましょう。

1問5点

① これは、まんがの本だ。

これは、まんがの本です。

② いつでも、本をかりられる。

いつでも、本をかりられます。

③ この店で、パンは売っていません。

この店で、パンは売っていない。

④ 校庭に、花がさいている。

校庭に、花がさいています。

2 ていねいな言い方の文には○を、ふつうの言い方のものには×を書きましよう。

1問6点

① わたしは、音楽が大好きです。

② ぼくは、サッカーせん手になりたい。

③ 父は、いつもにこにこしています。

④ これから兄に話してみる。

⑤ この本は君のか。

文の終わりを  
見よう。



3 ——— の言葉ことばを、ていねいな言い方に書き直しましょう。

1問6点

① おじいさんは、公園こうえんの中をゆっくり歩く。

② その先の角かどを曲まがったところに本屋ほんやがある。

③ あした、あなたは、図書館としよかんに行くか。

④ 夕食ゆうしょくの後に、テレビは見ない。

⑤ 妹は、かならず七時にねる。

⑥ ねこが、ねずみを追おいかける。

4 言葉ことばの使い方が正しいほうに、○をつけましょう。

1問7点

① お客きやくさまが来た。

② お客きやくさまがいらっしゃった。

③ 先生せんせいが本ほんを読んでくれた。

④ 先生せんせいが本ほんを読んでくださった。



ていねいな言い方は、「です」「ます」を使いぬ。

月  
.....  
日

点

1 人から聞いたことを表す言い方の文に、○をつけましょう。

1問7点

① ( ) ( )  
( ) ( )  
よしお君は、外国に行った。  
よしお君は、外国に行ったそうだ。

② ( ) ( )  
( ) ( )  
ここでは、きのこがとれます。  
ここでは、きのこがとれるそうだ。



③ ( ) ( )  
( ) ( )  
ゆうべ、父はおそく帰ったそうだ。  
ゆうべ、父はおそく帰った。

2 様子を想ぞうして言う場合の文に、○をつけましょう。

1問8点

① ( ) ( )  
( ) ( )  
あすは、すっきり晴れる。  
あすは、すっきり晴れるだろう。

② ( ) ( )  
( ) ( )  
弟は、かぜをひいたようだ。  
弟は、かぜをひいた。



③ ( ) ( )  
( ) ( )  
友だちの家は、公園に近い。  
友だちの家は、公園に近いらしい。

3 次の言い方に合うほうに、○をつけましょう。

1問9点

1 たのむ言い方

かばんを持ってください。

かばんを持っています。

2 たずねる言い方

かばんを持っていますか。

かばんを持っていません。

3 命れいする言い方

よごれた服をあらいます。

よごれた服をあらいなさい。



4 ———の言葉を、さそう言い方に書きかえましょう。

1問7点

「きれい」すぐに出発します。↓ ( ) 出発しましょう。

1 公園の中を歩きます。↓ ( )

2 ごはんをゆっくり食べます。↓ ( )

3 今日、プールで泳ぐ。↓ ( )

4 えい画を見に行く。↓ ( )



文の終わりをかえると、いろいろな言い方になるね。



20

たしかめ

問題

もんだい

④

月

日

点

40

1 次の文章を読んで、後の問題に答えましょう。

ぼくわ、おとさんといっしょに北海道へ行っ

てきました。電車の中で知り合いになった人が、

アメを二つくれたので、

「ありがとう。」

と、ぼくは言った。



① かなづかいのまちがいが文章の中に四つあります。——を引いて、右に正しく書き直しましょう。 100点

② 「くれた」を、ていねいな言い方に書きかえましょう。 9点

③ 「言った」を、ていねいな言い方に書きかえましょう。 9点

はつおん  
発音が同じかなに  
気をつけて。



2 次の文を、ふつうの言い方はていねいな言い方に、ていねいな言い方はふつうの言い方に書きかえましょう。 1問10点

① 父は、いつも早く起きる。

( )

( )

② この水は、とてもきれいです。

( )

( )

3 ———の言葉を、∧の言葉を使って、様子を想ぞうして言う文に書きかえましょう。 1問10点

① きれいな花がさく。 ∧だろう

( )

( )

② 父が帰ってきた。 ∧らしい

( )

( )

③ あしたは、雨になる。 ∧ようだ

( )

( )

4 ———の言葉を、さそう言い方に書きかえましょう。 1問10点

① もう少し遊ぶ。

↓

( )

( )

② 絵をかきます。

↓

( )

( )

1 国語辞典で、先に出ている言葉ことばのほうに○をつけましょう。

1問5点1問5点

1  
あさ  
しか

2  
かめ  
あめ

3  
たる  
さる

4  
にしやく  
じしやく

5  
さとう  
いす

6  
えいがかん  
びようき

1  
あし  
かい

2  
あり  
あか

3  
いし  
ねずみ  
せかい

4  
うま  
たにし  
せみ

5  
ひぎ  
ひよう  
ひかり

6  
てら  
てつ  
てんき



一字目が  
同じなら、  
二字目より  
後を見て  
みよう。

2 国語辞典に出ているじゆんに、番号ばんごうをつけましょう。1問5点

**3** ——— の言葉の、国語辞典じてんに出ている形（言い切りの形）として正しいほうに、○をつけましょう。

1問5点

① とても楽しかった。

（ ） （ ）  
（ ） （ ）  
（ ） （ ）  
（ ） （ ）

② 校庭こうていを走った。

（ ） （ ）  
（ ） （ ）  
（ ） （ ）  
（ ） （ ）

③ 助けたすをたのんだ。

（ ） （ ）  
（ ） （ ）  
（ ） （ ）  
（ ） （ ）

④ 元気になる。

（ ） （ ）  
（ ） （ ）  
（ ） （ ）  
（ ） （ ）



**4** ——— の言葉を、国語辞典じてんに出ている形（言い切りの形）に書きかえましょう。

1問5点

《れい》本当のことを知った。 ↓ （ ） 知る （ ）

① おずかしい本を読んだ。 ↓ （ ）

② 海うみに遊びあそびに行った。 ↓ （ ）

③ 青い色をうすくぬる。 ↓ （ ）

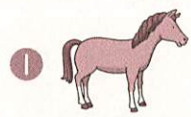
④ 朝、起きて顔をあらった。 ↓ （ ）



動きを表す言葉はワの音、様子を表す言葉は「い」で終わるよ。

1 つぎ 次のローマ字の読み方を、ひらがなで書きましょう。

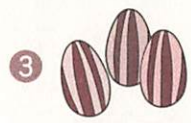
1問4点



uma ( )



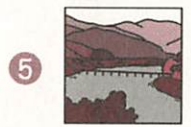
isu ( )



tane ( )



tuki ( )



kawa ( )



yasai ( )

2 次の言葉<sup>ことば</sup>をローマ字で書いたものとして、正しいほうに○をつけましょう。

1問7点

1 ねぎ { ( ) negi  
( ) nedi

2 ペン { ( ) hen  
( ) pen

3 けむし { ( ) kenusi  
( ) kemusi

4 きょうしつ { ( ) kyositu  
( ) kyôsitu

月  
日

点



いろいろな言葉をローマ字で書いてみよう。

3 つぎのことばを、ローマ字で書きましょう。

1問4点

① かさ

kasa → kasa

② しゃしん

syasin → syasin

③ めがね

megane →

④ ちゃわん

tyawan →

4 次の言葉を、ローマ字で書きましょう。

1問8点

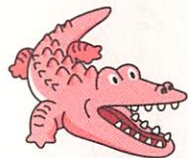
① いぬ

\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_



② わに

\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_



③ でんしゃ

\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_



④ おとうさん

\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_





1 つぎ 次のローマ字の読み方を、ひらがなで書きましょう。

1問5点

① kitte ( )                      ② ryokô ( )

③ imôto ( )                      ④ obâsan ( )

⑤ hon'ya ( )                      ⑥ gyûnyû ( )

2 次の地名をローマ字で書いたものとして、正しいほうに○をつけましょう。

1問5点

① 岩手県  $\left\{ \begin{array}{l} ( ) \text{ iwate-ken} \\ ( ) \text{ lwate-ken} \end{array} \right.$                       ② 東京都  $\left\{ \begin{array}{l} ( ) \text{ Tôkyô-to} \\ ( ) \text{ Tokyô-to} \end{array} \right.$

③ 鳥取県  $\left\{ \begin{array}{l} ( ) \text{ Tottori-ken} \\ ( ) \text{ Totori-ken} \end{array} \right.$                       ④ 九州  $\left\{ \begin{array}{l} ( ) \text{ Kyûsyû} \\ ( ) \text{ Kyûsyu} \end{array} \right.$

月
日

点
---



地名や人名のときには、はじめの文字を大文字で書くよ。

答え…77ページ

3 つぎの人名を、ローマ字で書きましょう。

1問6点

① あおき まさや  
Aoki Masaya



\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

② うえだ きょうこ  
Ueda Kyôko



\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

③ おおの りゅうた  
Ôno Ryûta



\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

4 次の言葉を、ローマ字で書きましょう。

1問8点

① てつ 鉄ぼう

\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_



② しんごう

\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_



③ コップ

\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_



④ おねえさん

\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_





24

たしかめ

問題

もんだい

5

月

日

点

1 次の文章を読んで、後の問題に答えましょう。

きのう、わたしは、**ア** お母さんといっしょに、本ほん屋やに**イ**行って、本を二さつ買ってもらった。  
 一さつは、**ウ** でん記き、もう一さつは **エ** 物語ものがたりだ。とても  
**オ** おもしろくて、お母さんに本の内ようを  
**カ** 話してあげたら、後でかしてほしいとた  
 のまれた。



1 の言葉を、ローマ字で書きましょう。

1つ8点

**ア** お母さん  
 \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_  
**ウ** でん記  
 \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_  
**エ** 物語  
 \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_

2 の言葉を、国語辞典じてんに出ている形(言い切りの形)で書きましょう。

1つ10点

**イ** 行って  
 ↓  
 \_\_\_\_\_

**オ** おもしろくて  
 ↓  
 \_\_\_\_\_

**カ** 話して  
 ↓  
 \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

**2** 次の文章を読んで、後の問題に答えましょう。

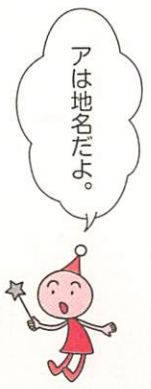
ア 京都府に、住んでいる。ウ おじいさんから、ぼくと  
お兄さんあてに手紙がとどいた。ぼくへの手紙には、  
「この間は、遠くまで来てくれてありがとう。今  
度、夏に来たときには、カブトムシを  
とろうね。」  
と、書いてあった。



**1** の言葉を、ローマ字で書きましょう。

1つ8点

ア 京都府  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
ウ おじいさん  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_



**2** — の言葉を、国語辞典に出ている形（言い切りの形）で  
書きましょう。

1つ10点

イ 住んで  
エ 遠く  
オ 書いて

↓ ↓ ↓

（ ） （ ） （ ）

（ ） （ ） （ ）

答え…77ページ



月
日

点
---

1 次の漢字の送りがなが正しいほうに、○をつけましょう。

1 新しい  
新らしい

2 あやしい物音が  
ものおと

3 高い  
高かい

服を着る。

聞える  
聞こえる

山に登る。



1問10点

2 送りがなに注意して、  
の漢字の読みがなを書きましょ

う。

1問5点

1 細かい糸。  
細かい字。

2 かいだんを上る。  
たなに上げる。

3 少ない数。  
少しかれる。

4 草が生える。  
多くの生き物。

3

の言葉を、漢字にした場合の送りかなを書きましよう。

1問5点

① 音楽の時間にうたう。

歌

② 友だちの家の前をとおる。

通

③ よいことをかんがえる。

考

④ 山道をのんびりとあるく。

歩

4

の言葉を、漢字と送りかなで書きましよう。

1問10点

①

おもい荷物を持つ。  
皿を何まいもかさねる。

( ) ( )  
( ) ( )  
( ) ( )

②

お気にいりの服。  
へやの中にはいる。

( ) ( )  
( ) ( )  
( ) ( )

③

あかりをつける。  
あかるいわらい声がする。  
あきらかにあやしい。

( ) ( ) ( )  
( ) ( ) ( )  
( ) ( ) ( )



2

は、送りかなによって読み方や意味がかわる漢字だよ。

答え：78ページ

月  
日

点

1  に合う送りかなを書きましょう。

1問10点

1 遊ぶ

ア 外で遊  う。イ 友だちと遊  だ。ウ しずかに遊  ます。

2 動く

ア 決して動  な。イ ちよつと動  た。ウ まったく動  ない。

2 の言葉を、文に合う形で書きましょう。

1問10点

1 泳ぐ

ア 暑い日に、友だちとプールで  だ。イ 深い川では  ないようにしよう。

2 短い

ア かみの毛を  切る。イ 妹のスカートは少し  た。

3 ——— の言葉ことばを漢字かんじにした場合の送りおくりがなを書きましよう。

1問6点

1 川かわがいきおいよくなよくながれる。

流

( )

2 思い切り走り、息いきがくるくるしい。

苦

( )

3 家族かぞくがしあわせあわせにくくらす。

幸

( )

4 六時に家いえにかかえる。

帰

( )

5 母ははのかわりに買かい物ものををする。

代

( )

4 ——— の言葉は、送り送りがなが正しくありません。右に漢字と

正しい送り送りがなを書きましよう。

1問10点

生まれる

〈れい〉子ねこがが生なれる。

1 気持きもちちを顔かほに表あらわす。

2 楽たのしみのしい歌うたの時とき間かん。

3 とても親おやたしい友ともだち。



1 と 2 のように、後につづく言葉によって、送り送りがなもかわるよ。

1 次の漢字の部分を組み合わせ、漢字を作りましょう。 1問3点

7	5	3	1
言	サ	女	シ
+	+	+	+
売	化	市	主
↓	↓	↓	↓

8	6	4	2
才	口	相	竹
+	+	+	+
合	玉	心	寺
↓	↓	↓	↓

2 次の二つの漢字を組み合わせ、漢字を作りましょう。 1問5点

7	5	3	1
系	女	口	木
+	+	+	+
冬	台	貝	交
↓	↓	↓	↓

8	6	4	2
口	竹	木	日
+	+	+	+
未	由	反	者
↓	↓	↓	↓

月
日
点

**3** 次の部首を持つ漢字にかん係があることがらをえらんで、

○をつけましょう。

1問4点

① 艹 (くさかんむり) 草 花 葉

動物 植物

② 氵 (さんずい) 波 海 池

水 火

③ 亻 (にんべん) 休 体 作

物 人

**4** 次のことがらにかん係がある、同じ部首の漢字を書きましょ

う。

1問6点

① 「木」…木を  える。太い  。

② 「言葉」…  をする。思い出を  る。

③ 「手」…ボールを  げる。  先でつまむ。

④ 「糸」…おり  をおる。  をかく。



部首から、漢字のおおまかな意味がわかるね。

1 次の「」から、なかまでない言葉を一つずつえらんで、

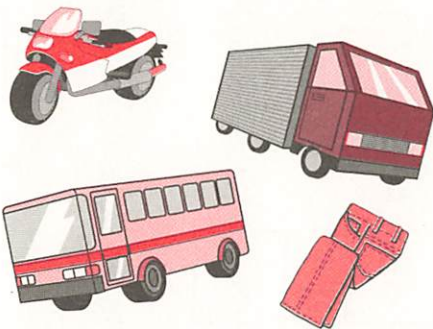
○でかこみましよう。

1問7点

1 たぬき・きつね  
たんぽぽ・ねこ

2 バス・ズボン  
トラック・バイク

3 運動会・遠足  
社会科見学・病院



2 「」と同じなかまの言葉を、

から一つずつえらんで、

1問7点

( )に書きましよう。

1 予習・ふく習

2 テスト・じゆ業

3 父・母

兄・妹

童話・物語

3 どん記・昔話



どんななかま  
の言葉かな?



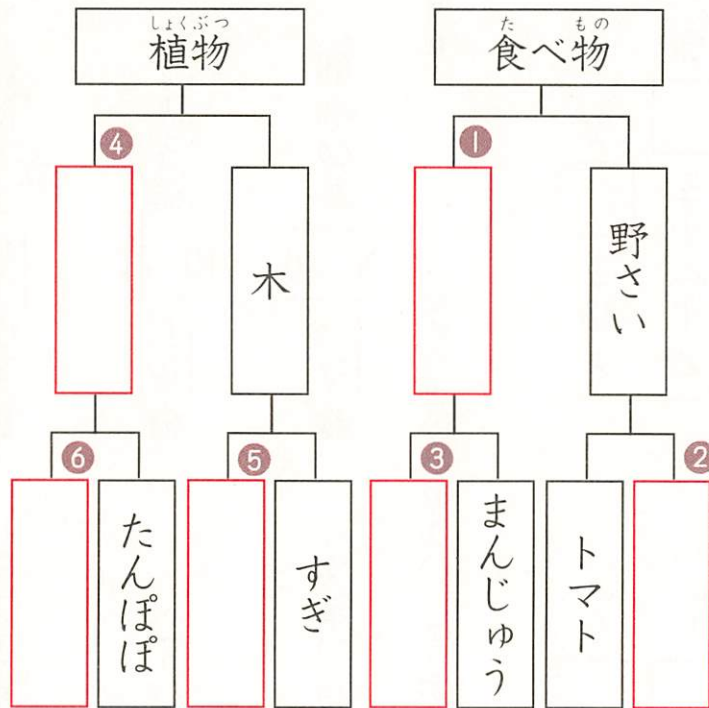
詩・正月・弟・実けん



3

4

は、下にいくほど「せまい意味の言葉」になっているよ。



草 (kusa)  
おかし (okashi)  
クッキー (kukki)  
さくら (sakura)  
はくさい (hakusai)  
すすき (susuki)

4

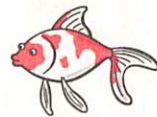
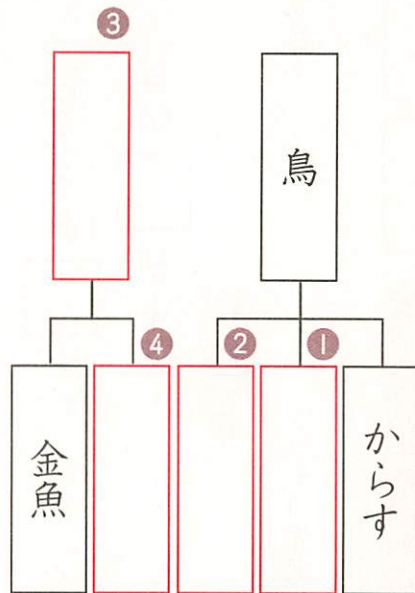


に合う言葉を、



からえらんで書きましょう。

1問5点



魚 (ishu)  
めだか (medaka)  
つばめ (tsubame)  
すずめ (suzume)

3



に合う言葉を、



からえらんで書きましょう。

1問7点



# 同じ読み方の漢字



月  
日

点

1 と読む漢字を書きましよう。

1問6点

1 えん

2 や

ア  足そくに行く。

ア十五じゅうごの月。

イ公こう  で遊あそぶ。

イ  球きゅうをする。

3 あ(う)

4 き(る)

ア気きが  う。

アトマトを  る。

イ人ひとと  う。

イ服ふくを  る。

2 に合う漢字を、○でかこみましよう。

1問6点

1 げん

2 たい

原元  気きに走る。

体太  育いくの時間。

3 だい

4 そう

台代  の上。

想相  談だんをする。

5 しゃ

6 犬のしゆ

写社  真しんをとる。

首主  人じん。

3 と読む漢字を書きましよう。

1問5点

1 しゅ

ア新聞の  ざい。

イ部  を調べる。

2 けつ

アきずからの出  。

イ  心をする。

3 あ(ける)

ア夜が  ける。

イせきを  ける。

4 お(う)

アけがを  う。

イ後を  う。

4 漢字のまちがいに——を引いて、右に正しく書き直しましよう。  
1問5点

1 見の回りの正とんを心がけるようにする。

2 学級員でクラスの係について放し合う。

3 動物円で、多くの生き物の世和をする。

4 大事な物を下とさないよう柱意  
する。



同じ読み方の漢字は、まちがえやすいので気をつけよう。



30

二つの漢字でできた言葉



月  
日

点

1 次の漢字と意味の上でかん係のある漢字を、から一つずつえらんで□に書き、漢字二字の言葉を作りましょう。

1問5点

1 畑 はた

3 土

5 行

2 林

4 足

6 和 わ

通・森・手・平・地・田



訓読みで意味を  
考えよう。

2 次の漢字と反対の意味になる漢字を、から一つずつえらんで□に書き、漢字二字の言葉を作りましょう。

1問5点

1 下

3 遠

5 短 たん

2 外

4 前

6 西

東・長・近・上・内・後

**3** 次の上と下の言葉をつないで漢字二字の言葉を作り、  
に書きましよう。

1問5点

〈れい〉強い + 力 ↓ (強力)

① 風 + 車



② 長い + 話



③ 幸せしあわ + 運うん



④ 早い + 朝



**4** 漢字二字を組み合わせて言葉を作ると、もとの漢字と読み方がわかることがあります。次の□の読み方を( )に書きましよう。

1問5点

① 色(いろ) + 紙(かみ)

↓ 色紙



② 青(あお) + 空(そら)

↓ 青空



③ 酒(さけ) + 屋(や)

↓ 酒屋



④ 雨(あめ) + 具(ぐ)

↓ 雨具



**4** どのような漢字の組み合わせをほかにもさがしてみよう。



31

たしかめ

問題

6

月

日

点

1 次の文章中の言葉の漢字と送りがなで書きましよう。

1問10点

庭にはえた草を、母がむしるように言ったので、わたしは庭に出た。庭は、見わたす一面、草で緑になっていた。

草むしりの作業は三十分でおわった。わたしは、使った道具を小屋にもどし、小屋の中もとのえておいた。



1 はえた

2 おわった

3 ととのえて

2 次の漢字の部首をからえらんで、書きましよう。

1問7点

1 庭

2 草

3 緑

4 作

いとへん・くさかんむり・まだれ・にんべん

3 次の文章を読んで、後の問題に答えましょう。

わたしの学校のちようしよは、春になると、交庭のさくらの木にうぐいすがやってくることです。

うぐいすは、とてもよい声で鳴くので、休み時感には、その声を聞くために、みんな

が外に出ていって、声をたよりにうぐいすをさがします。



1 漢字のまちがいが二つあります。――を引いて、右に正しく書き直しましょう。 106点

2 「ちようしよ」を漢字で書きましょう。 15点

3 次の「      」から、うぐいすと同じなかまでない言葉をえらんで、○でかこみましょう。 15点

「にわとり・すずめ・ぞう・あひる・ペンギン」



32

# まとめのテスト ①

目ひょう時間

10分

月 日

点

1 次の漢字を組み合わせて、□に漢字を書きましよう。

1問6点

① 竹 + 相  
……ちよ金 □ を開ける。

② 口 + 未  
……しお □ がこいスープ。

③ 女 + 台  
……ゲームを □ める。



2 次の部首を持つ漢字にかん係のあることから、えらんで、記号で答えましよう。

1問6点

① シ (さんずい) ……

② イ (にんべん) ……

③ 言 (ごんべん) ……

④ 才 (てへん) ……

ア	イ	ウ	エ
言葉	人	手	水

3 次の漢字の□でかこんだ部分の名前を書きましよう。

1問5点

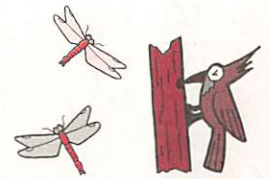
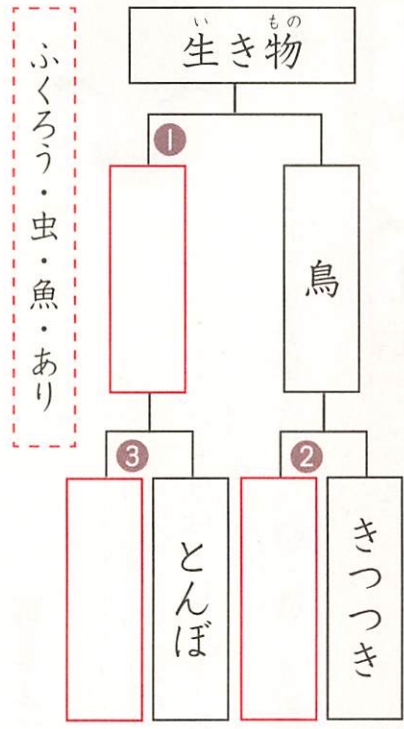
① 送 ( ) ( ) ( ) ( )

② 店 ( ) ( ) ( ) ( )

4

に合う言葉を、からえらんで書きましょう。

1問5点



5

の言葉と反対の意味の言葉を、漢字を使って書きましよう。

1問5点

① ( ) ⇔ 近い

② ( ) ⇔ 弱い

③ ( ) ⇔ すてる

6

次の言葉に合う漢字を書きましょう。

1問6点

① ア今日の出来事はなす。

イぱつと手をはなす。

( ) ( )

② アケーキを三とう分する。

イ野球のとう手になる。

( ) ( )

③ アバスのしゅう点。

イ学しゅうの内よう。

( ) ( )

答え：79ページ



33

# まとめのテスト②

目ひょう時間

15分

月 日

点

1  の言葉ことばを、①・②に分けて書きましょう。

1問5点

きれいだ・楽しい・わらう  
おこる・少ない・見つける

① 動きうごを表す言葉あはわ



② 様子ようすを表す言葉

2 次つぎの文の形を  からえらんで、記号きごうで答えましょう。

1問4点

① ききのううは、天気てんきがよよかかつつた。

② 小鳥こどりが森もりの中なかでささええずずる。

③ わたしわたしのここう物ぶつは、おおででんんです。

④ 父ちちは、毎朝まいあさジョギングジョギングををする。

⑤ あそこあそこに見みえるえるのは、ふふじ山さんだ。

ア 何がなに(は)どうする      イ 何がなに(は)どんどんななだ

ウ 何がなに(は)何なにだ

3  の言葉がくわしくしている言葉に、——を引きましよう。

1問4点

1 たくさんの人が広場に集まっている。

2 にん者は、すばやく身をかわした。

3 ぶあつい本は、とても重い。

4 夜空で星がきらきら光った。

5 皿の上のおかしはたちまちなくなった。



4  のこそあと言葉が指していることがらに、——を引きましよう。

1問4点

1 うちの庭に、小鳥がとんでくる。そこにえさ台があるからだ。

2 音楽室から美しい歌声が聞こえてきた。それは、先生の歌声だった。

5 ( ) に合う言葉を、  からえらんで書きましよう。

1問4点

1 風が強い。 ( ) 、雨もふってきた。

2 兄は元気だ。 ( ) 、朝は弱いようだ。

3 いちごがすきだ。 ( ) 、全部食べてしまった。

けれど・だから・さらに

6 次の言葉を、ローマ字で書きましょう。

1問4点

1 根っこ

2 親友

3 札幌市

4 伊藤真一

7 「暗黒」のように、にた意味の漢字を組み合わせた言葉を

「」から三つえらんで、○でかこみましょう。

4点

「 森林・身体・上下・学習・青空・強弱



8 ーの言葉をへへの言い方にして、文を書きかえましょう。

1問5点

1 公園で遊ぶ。〈さそう言い方〉

2 おまんじゅうがすきです。〈たずねる言い方〉



34

## まとめのテスト

③

目ひょう時間

15分

月 日

点

1 次の文章を読んで、後の問題に答えましょう。

動物の中には、冬になると、あなの中などに入って、ねむってすごすものがあります。

たとえば、そのような動物にクマがいます。クマは、冬の間ずっと、あなの中でねむってすごしています。このときのクマの体温は、とてもひくくなっています。

□、クマは、春が来てあなから出るまでは、食事もしなければ、フンやおしっこをすることはありません。



また、お母さんのクマは、この冬の間に、あなの中で、子どもを生んで育てます。食べ物をお口にせず、子どもを生むのです。

ですから、クマは、冬にそなえて、秋に大りよりのえさを食べ、太ります。しぼうがたっぷりとれるどんぐりなどを、たくさん食べます。

ほかに、リスやネズミにも、クマと同じように、

冬になると、あなの中などに入って、ねむってすこすしゆるいがあります。

このような動物は、食りようの少ない冬の間、体温を下げて、ねむってすこすという、生きのこる方ほうをえらんだものたちなのです。



 **問題** もんだい

① 冬の間、ねむってすこす動物には、どのようなものがありますか。

一つ5点

( ) ( ) ( )  
( ) ( ) ( )

② 「そのような動物」とは、どのような動物ですか。( ) ( ) に合う言葉を書きましょう。

一つ5点

ア ( )  
ウ ( ) になると、  
イ ( )  
に入って、 ( ) すごす動物。  
( ) の中など

3



に合う言葉に、○をつけましょう。

10点

( ) でも

( ) そして

( ) きて

4

クマの体温たいおんは、冬の間、どうなっていますか。

15点

5

クマが、冬の間にするこゝとして正しいものを一つえらんで、○をつけましょう。

10点

ア ( ) 食事しょくじをする

イ ( ) フンやおしっこをする

ウ ( ) ねむる

6

お母かあさんのクマは、冬の間、何をしていますか。

15点

7

「生きのこる方ほう」とは、どのような方ほうですか。

20点



冬の間の動物どうぶつたちの様子ようすを読み取るよみとることができたかな。

# 答え

アドバイス はおうちの方へ向けたものです。  
学習のポイントを紹介しています。

## 1 一年生のふく習①

2〜3ページ

- 1 カナダ・イギリス
- 2 ケーキ・テニス
- 3 ワンワン・チュンチュン
- 4 ピチャピチャ・バタバタ（それぞれじゅん番はちがってもよい）

- 2 ①や ②よる ③よ

- 3 ①切り取る ②見のがす

- 3 とび回る ④たたき落とす

- 4 ①ニャーニャー ②バシヤバシヤ

- 3 つるつる ④ガチャン

- 5 ゴホゴホ

### アドバイス

3 は、組み合わせるときに、上にくる言葉の形が変わっていることを、確認させてください。

## 2 二年生のふく習②

4〜5ページ

- 1 ①「わかりました。」

- 2 「勉強を教えてあげる。」

- 3 「おたん生日、おめでとう。」

- 2 ①ア会 イ回 ②ア国 イ黒

- 3 ①主語…：ぞうが 述語…：食べる

- 2 主語…：人は 述語…：友だちだ

- 3 主語…：マラソン大会が

述語…：あった

- 4 ①入ります ②休みました

- 3 ①いちごです ④わかりました

### アドバイス

3 は、文の形の基本を確認させてください。

4 の②は、「きのう」とあるので、「休みます」ではなく、「休みました」と過去の形になることに着目させましょう。

## 3 動きを表す言葉

6〜7ページ

- 1 ①食べる ②ながめる ③待つ ④よぶ

- 2 ①手 ②耳 ③口 ④目 ⑤足

- 3 ①ば・び・ぼ ②か・き・っ

- 3 か・き・こ ④ま・み・ん

- 4 ①歩か ②思っ

### アドバイス

3 では、動詞の言い切りの形がウ段の音で終わること、後に続く言葉の違いで活用することを確認させてください。

## 4 様子を表す言葉①

8〜9ページ

- 1 ①おもしろい ②強い ③赤い

- 4 うるさい

- 2 ①寒い ②深い ③赤い

- 3 ①楽しい ②新しい

- 3 やわらかい

- 4 ①く・かっ・けれ

- 2 く・かっ・けれ

### アドバイス

形容詞の問題です。形容詞の言い切りの形は、「〜い」となります。動詞と同様に語尾が変化して活用することを確認させてください。

## 5 様子を表す言葉②

10〜11ページ

- 1 ①ザーザー ②ひらひら ③ピヨ

- 1 ①ピヨ ④きらきら ⑤どんどん

- 2 ①ふわふわ ②トントン

- 3 ①すやすや ②ビュービュー

- 3 ③ぱくぱく ④ギシギシ

- 4 ①ぐっすり ②ぎっしり

アドバイス

擬声語・擬態語の問題です。どの言葉が文にふさわしいか、よく読んで理解させるようにしてください。

- 6 ①にた意味の言葉と ②反対の意味の言葉 12〜13ページ

- 1 ①美しい ②楽しい ③話す

- 4 見る ⑤行く

- 2 ①つらい ②あたたかい

- 3 あわてる ④しゃべる

- 3 ①小さい ②少ない ③太い

- 4 長い

- 4 ①下 ②内がわ ③うら ④後ろ

- ⑤西

アドバイス

3 は、「大きい」「小さい」と、「多い」「少ない」を混同しないように注意させてください。

4 は、「表裏」「前後ろ」など、言葉として覚えさせてもよいでしょう。

- 7 たしかめ 問題 ① 14〜15ページ

- 1 ①起きる ②わらう ③見つめる

- 4 ながめる ⑤おす

- 2 ①飲ま ②通れ

- 3 ①楽しい ②明るい ③悲しい

- 4 ゴロゴロ ⑤ぐっしり

- 4 ①のぞく ②帰る ③買う

- 4 はく

アドバイス

4の③の「売る」と「買う」を組み合わせてると、「売買」という、反対の意味の二字の熟語になります。

8 文の組み立て① 16〜17ページ

- 1 ①女の子が ②小鳥が ③ぼくは

- 4 太陽が ⑤えんぴつは

- 2 ①進む ②元気だ ③三さいです

- 4 走ります

- 3 ①主語：ねこが 述語：鳴く

- 2 主語：毛は 述語：白い

- 3 主語：妹は 述語：一年生です

- 4 主語：人が 述語：母だ

- 4 ①犬がほえる。 ②先生は、やさしい。 ③サンゴは、動物だ。

アドバイス

4は、文の形を区別するには、述語になっている言葉を見つけるようにするとよいことを確認させてください。「どうする」は動きを表す言葉、「どんなだ」は様子を表す言葉、「何だ」は「名詞＋だ」です。

9 文の組み立て② 18〜19ページ

- 1 ①走る ②泳ぐ ③小さい ④中

- 学生だ ⑤きれいだ ⑥黄色い

- 2 ①イ ②ア ③イ ④ウ ⑤ア

- ⑥ウ

- 3 ①主語 ②述語 ③主語 ④述語

アドバイス

3では、述語をまず探させ、その述語を行う主語を探すようにさせるとよいでしょう。

10 くわしくする言葉① 20〜21ページ

- 1 ①赤い ②かわいい ③つめたい

- 4 むずかしい ⑤白い

- 2 ①高い ②重い ③美しい

- 3 ①キャンキャン ②ビュービュー

- 3 いっせいに 4 すいすい  
4 ①きらきら ②ゆっくり ③バリ  
バリ

アドバイス

通常、くわしくする言葉(修飾語)は、対象の言葉よりも前にあるということに気づかせるようにしてください。

11 くわしくする言葉②

22 ~ 23 ページ

- 1 ①花(が) ②金魚(を) ③子犬(が)  
④泳ぐ ⑤くらす ⑥行つた ⑦練習(を)

- 2 ①いつ…きのう どこで…公園(で) ②いつ…夏休み(に) どこで…山(で) ③いつ…毎朝 どこで…かわら(で) ④いつ…夕方 どこで…小屋(で) ⑤いつ…夜 どこで…遠く(で)

- 3 ①(れい)女の子が、朝、家を出る。(女の子が、朝、学校へ向かう。)

アドバイス

1と2の( )は、答えに含めてもよい言葉です。

3は、文を書くときにおさえておきたい基本の形です。答えは、文の組み立てができていれば正解としてください。へは別解です。

12 たしかめ問題

24 ~ 25 ページ

- 1 ①主語…はが 述語…集まる  
②主語…羽は 述語…きれいだ  
③主語…町が 述語…見えた  
④主語…女の子が 述語…なく  
2 ①ウ ②イ ③ア ④イ  
3 ①赤い ②おいしい ③黄色い

- 小さな ④丸い・きれいな  
4 ①遊んだ ②かたづける ③出る  
④わすれていた

- 5 ①いつ…冬休み(に) どこで…山(で) ②いつ…日曜日 どこで…海(で)

アドバイス

3の③と④は、それぞれ「黄色い」と「小さな」、「丸い」と「きれいな」の二つともが下の言葉を修飾していることに注意させてください。

13 まる( )てん( )かぎ( )の使い方

26 ~ 27 ページ

- 1 ①きのう  家族で動物園に行った。  
②家に帰ると  母が夕食の用意をしていました。  
③プールに行った  だが  しまっていて泳げなかった。

- ④わたしは  本をたくさん読み  たくさんわらった。

- ⑤雨がふってきた  だから  かさをさした。

- 2 ①今日、学校で  テストがあった。

- ②学校に  着いたら、チャイムが鳴った。

- ③雲が  たれこめた。でも、雨は  ふっていない。

- ④天気が  よければ、ハイキングしよう。

- 3 ①「さようなら。」

- ②「よくがんばったな。」

- ③「ぼくは、ひとりで行くよ。」

- ④「おやすみなさい。」

わたしは、山の上で、

「わあ、~~×~~ やつと着いたぞ。」

と、~~×~~ 大声でさげびました。



アドバイス

- 3と4では、会話文の後には、「と」

があることに気づかせるるとよいでしょう。引用の後にも「と」がきます。

14

「ええ」の言葉

28〜29ページ

- 1 あのと・そんな
  - 2 あそこ・どれ
  - 3 それ・これ
  - 4 あのと・どなた
  - 5 あんな・その
- 2 1 あそこ 2 あれ 3 そんな 4 どの

- 3 1 いなか 2 水たまりの中
- 3 ノート 4 大きいたて物
- 4 1 物事 2 場所 3 方向

アドバイス

3の②は「水たまり」、④は「たて物」でも正解です。

それぞれ頭につく「こ」「そ」「あ」「ど」は、話者からの距離感を表しています。多くの場合、「こ」がつく言葉は話者から近いもの、「そ」がつく言葉は相手に近いもの、「あ」がつく言葉が話者からも相手からも遠いものを指します。「ど」がつく言葉は、指す対象がはっきりしないときに使います。

15

文をつなぐ言葉

30〜31ページ

- 1 1 だから 2 でも 3 だから
- 4 だから
- 2 1 だから 2 でも 3 それとも 4 そのうえ

- 3 (右から) 1 → 3 ↓ 2
- 2 2 ↓ 1 ↓ 3
- 4 1 ところが 2 そのうえ 3 でも 4 だから

アドバイス

つなぐ文の關係に注目させるようにしてください。「だから」「それで」などは順接、「しかし」「でも」などは逆接の関

係に使います。「さて」などは、話題を変えるときに使います。

16

たしかめ問題

32〜33ページ

- 1 1 ア：□ イ：□ 2 「遠いところまでよく来てくれたね。」
- 2 1 野原 2 古い本 3 山の上
- 3 1 ウ 2 ア 3 イ
- 4 1 公園 2 しかし

アドバイス

2では、こそあど言葉(指示語)は、直前に書かれている内容を指すことが多いということ、確認させてください。

17

かなづかい

34〜35ページ

- 1 1 う 2 お 3 ぢ 4 じ 5 い 6 い
- 2 1 は・を 2 う・へ 3 お・お 4 う・づ 5 お・う
- 3 1 おおく・○ 2 ○・きれい 3 こうてい・すずむし 4 おおどおり・○

- 4 1 わきに かたづけた にもつに つまづく。
- 2 てずくりの りよおりを ほめる。
- 3 ちじんだ ふくを いちまいつつ たたむ。
- 4 おちさんから はこずめの りんごが とどく。

アドバイス

読みと、その表記に注意しながら、問題を解かせるようにしてください。



18

## いろいろな言い方①

36〜37ページ

- 1 これは、まんがの本です。
- 2 いつでも、本をかりられます。
- 3 この店で、パンは売っています。
- 4 校庭に、花がさいています。
- 1 ○
- 2 ×
- 3 ○
- 4 ×
- 5 ×
- 1 歩きます
- 2 あります
- 3 行きます
- 4 見ません
- 5 ねます
- 6 追いかけます
- 1 お客さまがいらっしゃった。
- 2 先生が本を読んでくださった。

## アドバイス

4 では、尊敬語を扱っています。「お客さま」も「先生」も目上の人にあたるので、尊敬語を使って表現します。

19

## いろいろな言い方②

38〜39ページ

- 1 よしお君は、外国に行ったそうだ。
- 2 ここでは、きのこがとれるそうだ。
- 3 ゆうべ、父はおそく帰ったそうだ。
- 1 あすは、すっきり晴れるだろう。
- 2 弟は、かぜをひいたようだ。
- 3 友だちの家は、公園に近いらしい。

## アドバイス

1 と 2 では、文末についている「そうだ」「だろう」「ようだ」「らしい」に注目させるようにしてください。  
4 は、1「歩こう」、3「泳ぎましょう」など、誘う言い方できれば正解です。

20

## たしかめ

問題

④

40〜41ページ

- 1 ぼくは、おとおさんといっしょに北海道へ行ってきました。電車の中で知り合いになった人が、アメを二つくれたので、「ありがとう。」と、ぼくは言った。



- 2 くれました (へくださった)
- 3 言いました
- 1 父は、いつも早く起きます。
- 2 この水は、とてもきれいだ。
- 1 さくだろう
- 2 きたらしい
- 3 なるようだ
- 1 遊ぼう (遊びましょう)
- 2 かきましよう (かこう)

## アドバイス

文末に言葉をつけ加えることで、その意味を変えることができます。そのときに、もとの言葉の形が変わる場合もあるので、気をつけさせてください。

21

## 国語辞典の使い方

42〜43ページ

- 1 あさ
- 2 あめ
- 3 さる
- 4 じしゃく
- 5 いす
- 6 えいがかん
- 2 (右から) 1 → 2
- 2 2 → 1
- 3 1 → 3
- 2 4 → 3
- 2 2 → 3
- 1 2 → 1
- 6 2 → 1
- 3 1 楽しい
- 2 走る
- 3 たのむ
- 4 1 読む
- 2 行く
- 3 うすい
- 4 あらう

アドバイス

3の「元気に」は、「くだ」で終わる様子を表す言葉(形容動詞)です。このように、形容動詞は、国語辞典には「だ」を取った形で載っているのので、注意させるようにしてください。

22

ローマ字①

44〜45ページ

- 1 ①うま ②いす ③たね ④つき  
5 かわ ⑥ やさい

- 2 ① negi ② pen ③ kemusi ④ kyôsitu  
3 ① kasa ② syasin (shashin) ③ megane ④ tyawan (chawan)  
4 ① inu ② wani ③ densya (densha) ④ otôsan

アドバイス

2の④、4の④のように、ひらがなで伸ばす音は、「a・i・u・e・o」の上に「ハ」をつけて書きます。拗音(「きゃ」行など)や濁音、半濁音もどのように書くか、確認させるようにしてください。

23

ローマ字②

46〜47ページ

- 1 ①きって ②りよこう  
3 ①いもうと ④おばあさん  
5 ほんや ⑥ぎゆうにゆう

- 2 ① lwate-ken ② Tôkyô-to ③ Tottori-ken ④ Kyûsyû  
3 ① Aoki Masaya ② Ueda Kyôko ③ Ôno Ryûta  
4 ① tetubô (tetsubô) ② singô (shingô) ③ koppu ④ onêsan

アドバイス

へ 内のようにも書くことができます。

1の⑤の「hon'ya」のように、「ん(n)」の後に「a・i・u・e・o」や「y」が来るときは、「」をつけて、読み間違いをさけるルールがあります。

3は、人名をローマ字で書く練習です。③の「おおの」のように最初の音を伸ばすときも、「Ono」と書きます。「Onno」ではないので注意させるようにしてください。実際にお子さんの氏名も、ローマ字で書いて練習させると、覚えやすいでしょう。

24

たしかめ

問題

⑤

48〜49ページ

- 1 ア okâsan ウ denki エ monogatari  
2 イ 行く オ おもしろい カ 話す

- 2 ア Kyôto-hu (Kyôto-fu) ウ ozisan (ojisan)  
2 イ 住む エ 遠い オ 書く

アドバイス

2の①アは地名なので、最初の文字は大文字になることを注意させるようにしてください。



25

## 漢字と送りがな①

50〜51ページ

- 1 ①新しい ②聞こえる ③高い
- 2 ①ほそ・こま ②のぼ・あ
- 3 ③すこ・すく ④い・は
- 3 ①う ②る ③える ④く
- 4 ①重い・重ねる ②入り・入る
- 3 ③明かり・明るい・明らか

## アドバイス

4の⑤「明かり」「明るい」「明らか」のように、多くの読みがある漢字があります。こうした漢字は、送りがなに注意させましょう。ほかに、「生」にも、「生きる」「生える」「生まれる」など、たくさん読みがあります。

26

## 漢字と送りがな②

52〜53ページ

- 1 ①アば イン ウび
- 2 ②アく イい ウか
- 2 ①ア泳い イ泳が
- 2 ②ア短く イ短かっ
- 3 ①れる ②しい ③せ ④る ⑤わり
- 4 ①表す ②楽しい ③親しい

## アドバイス

漢字の書き取り問題でも問われる、送りがなに着目した設問です。用言(動詞・形容詞・形容動詞)は活用するので、後につづく言葉によって形が変わります。用言を漢字で書く場合、言い切りの形と比べて、形が変わっている部分から送りがなとする場合が多いということを押さえさせるとよいでしょう。

27

## 漢字の組み立て

54〜55ページ

- 1 ①注 ②等 ③姉 ④想 ⑤花
- 6 ⑥国 ⑦読 ⑧拾

2 ①校 ②暑 ③貝 ④板 ⑤始

2 ⑥笛 ⑦終 ⑧味

3 ①植物 ②水 ③人

4 ①植・柱 ②話・語 ③投・指

4 ④紙・絵

## アドバイス

3 ④は、部首の名前と意味を、覚えさせるようにしてください。その漢字を使った熟語を作らせると、部首や漢字のおおまかな意味がわかりやすくなります。

28

## なかまの言葉

56〜57ページ

- 1 ①たんぽぽ ②ズボン ③病院
- 2 ①実けん ②弟 ③詩
- 3 ①つばめ ②すずめ ③魚 ④めだか
- 4 ①おかし ②はくさい ③クッキー ④草 ⑤さくら ⑥すすき

## アドバイス

1の①は「たんぽぽ」だけが植物です。残りの言葉は全部動物です。2は「ズボン」だけが衣服で、残りは乗り物です。3は「病院」以外は学校の行事です。3の①②は順序が逆でも正解です。3 ④は、上位の言葉ほど「広い意味の言葉」になっていることを確認させてください。4の「食べ物」に「野さい」と①「おかし」が含まれ、①「おかし」の中に、「まんじゅう」と③「クッキー」が含まれている、ということになります。

29

## 同じ読み方の漢字

58〜59ページ

- 1 ①ア遠 イ園 ②ア夜 イ野
- 2 ③ア合 イ会 ④ア切 イ着
- 2 ①元 ②体 ③台 ④相 ⑤写

- ⑥ 主  
 ③ ①ア取 イ首 ②ア血 イ決  
 ③ア明 イ空 ④ア負 イ追

④ ①見の回りの正とんを心がけるようにする。  
身 整

② 学級貝てクラスの係について話し合つ。  
会 話

③ 動物円て、多くの生き物の世和をする。  
固 話

④ 大事な物を下とさないよう柱意する。  
落 注

### アドバイス

③ の①「しゅ」と読む漢字はほかに、「主」「守」「酒」など、③の「あ(ける)」と読む漢字はほかに、「開ける」などの例もあるので、一緒に覚えさせるとよいでしょう。

④ は、形の似たものの間違いもあるので、漢字を一つずつ確認させるようにしてください。

## 30 二つの漢字でてきた言葉

60〜61ページ

① ①田 ②森 ③地 ④手 ⑤通

⑥平

② ①上 ②内 ③近 ④後 ⑤長

⑥東

③ ①風車 ②長話 ③幸運 ④早朝

④ ①いろがみ(へしきし) ②あおぞら

③さかや ④あまぐ

### アドバイス

③ の読みはそれぞれ、①「ふうしゃ」または「かざぐるま」、②「ながばなし」、③「こううん」、④「そうちよう」です。熟語になったとき、訓読みが音読みになることがあります。

## 31 たしかめ

問題

⑥

62〜63ページ

- ① ①生えた ②終わった

③ 整えて

② ①まだれ ②くさかんむり

③ ①いとへん ④にんべん

③ ①

わたしの学校のちようしよは、春になると、交庭校 庭のさくらの木にうぐいすがやってくることです。

うぐいすは、とてもよい声で鳴くので、休み時感間

には、その声を聞くために、みんな

が外に出ていって、声をたよりに

うぐいすをさがします。



- ② 長所 ③ぞう

### アドバイス

③ の②「長所」の、「よいところ、すぐれたところ」という意味も確認させておいてください。反対の意味の言葉は「短所」です。③は、「ぞう」以外は鳥の仲間です。

## 32 まとめのテスト①

64〜65ページ

① ①箱 ②味 ③始

② ①エ ②イ ③ア ④ウ

③ ①しんによう(へしんにゆう)

②まだれ

④ ①虫 ②ふくろう ③あり

⑤ ①遠い ②強い ③拾う

⑥ ①ア話 イ放 ②ア等 イ投

③ア終 イ習

### アドバイス

⑥ の②のように「とう」と読む漢字にはほかに、「当」「豆」「鳥」などがあります。文をよく読んで、ふさわしい漢字を書くことができるように、気をつけさせてください。

- 1 わらう・おこる・見つける
- 2 きれいだ・楽しい・少ない
- 1 イ 2 ア 3 ウ 4 ア 5 ウ
- 1 人(が) 2 かわした 3 本(は)
- 4 光った 5 なくなった
- 1 うちの庭 2 美しい歌声
- 1 さらに 2 けれど 3 だから

- 6 1 nekkō
- 2 sin'yū  
<shin'yū>
- 3 Sapporo-si  
<Sapporo-shi>
- 4 Itō Shin'ichi  
<Itō Shin'ichi>
- 7 森林・身体・学習
- 8 1 公園で遊びましょう。

2 おまんじゅうがすきですか。

### アドバイス

2の③の主語は「この物は」です。「わたしの」は「この物」をくわしくしている言葉で、主語ではないということを確認させてください。

3の①と③は名詞をくわしくしている言葉、②と④と⑤は、動詞(動きを表す言葉)をくわしくしている言葉です。

4の①は「庭」、②は「歌声」でも正解です。

- 1 1 クマ・リス・ネズミ
- 2 ア冬 イあな ウねむって
- 3 そして 4 〈へれい〉とてもひくく
- 5 ウ 6 〈へれい〉あな
- 7 〈へれい〉(食り)の少ない冬の間、体温を下げて、ねむってすやすすという方ほう。

### アドバイス

1の答えは順不同です。

2は、直前の段落の中に書かれています。

3は、空欄の前も後ろも、クマのあなの中の状態が書かれているので、順接の「そして」が入ります。

5は、「春が来てあなから出るまでは、食事もしなければ、フンやおしっこをすることもありません」とあるので、ウが正解です。

7は、直前に「〜という」があるので、その前から読み取ることができます。

## 小学生のドリルシリーズ ⑫

# 言葉と文章 小学3年

2014年5月20日 第1刷発行

2015年10月25日 第6刷発行

編集・発行 株式会社 **大創出版**

Words and Sentences for 3rd Graders  
©2014 DAISO PUBLISHING CO., LTD.

Printed in JAPAN.

1st printing, May 2014.

6th printing, October 2015.

Quality and Design by  
**DAISO JAPAN**

(株)大創産業  
広島県東広島市西条吉行東1-4-14  
DAISO INDUSTRIES CO., LTD.  
1-4-14 Saijo Yochihiro Higashi,  
Higashihiroshima, Hiroshima, 739-8501 JAPAN

本書の内容に関するお問い合わせ、乱丁・落丁のご連絡は、下記までお願いいたします。

ダイソー小学生のドリルシリーズ  
お客様センター

TEL : 03-5981-7203

受付時間 月曜日～金曜日  
(土・日曜日、祝日を除く)

10:00～12:00, 13:00～17:00

大創出版ホームページ

<http://www.daiso-syuppan.com/>

本書の無断複写・複製・転載を禁じます。

乱丁・落丁本は下記へお送りください。  
送料小社負担でお取り替えいたします。

Reproduction, copy or reprinting is prohibited.  
We will replace damaged or defective items.

〒170-0002

東京都豊島区巣鴨1-4-7 MKビル4F

株式会社 大創出版「お客様センター」係